

今日も明日も 牛群検定が約束する あなたの酪農経営!



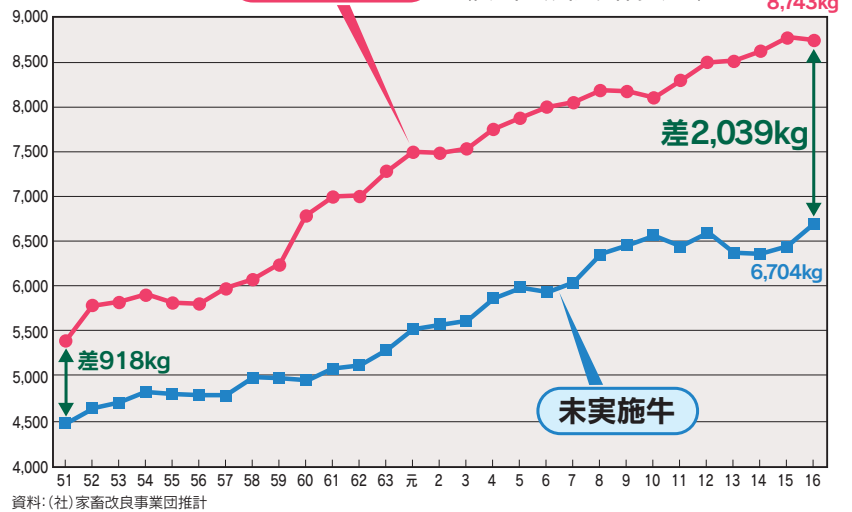
1

こんなにも 大きな乳量差が

- 過去の計画生産、生乳取引基準の引き上げ、家畜糞尿法など、厳しい時代の要請に応えながら、牛群検定参加牛は年々高い産乳量をあげており、検定未実施牛との差は開く一方です。
- これは、能力に応じた選択的利用をはじめとする、牛群検定の持つ多面的な機能が活かされ、生産性の良い酪農経営の堅実な発展に寄与してきた効果です。

牛群検定実施牛

■牛群検定実施牛と未実施牛の乳量比較
(経産牛1頭当たり年間生産量)

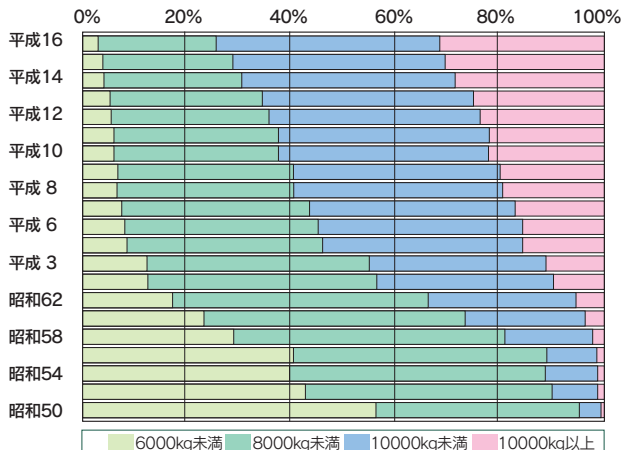


2

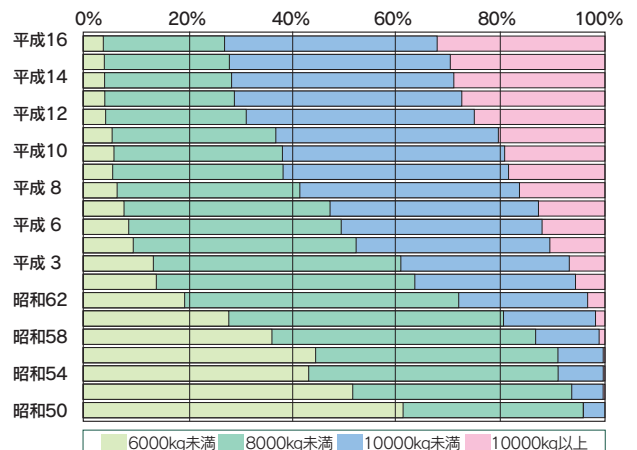
牛群検定は 高位生産牛群の基盤です

- 牛群検定が発足以来、30年で牛群検定農家の平均乳量は大きく向上してきました。牛群検定が果たしてきた役割が、大きいことが歴然としています。
- 発足当時、検定牛の大半を占めていた平均6,000kg未満の割合が極端に減り、今や平均乳量10,000kg以上の牛群が3割を超えています。

年次別乳量階層別比率(北海道)



年次別乳量階層別比率(都府県)



牛群検定成績の活用

個体毎の優れた乳質を担保する牛群検定成績の活用

農場番号	検査年月日	検査結果	検査者
2001001	17 8 23	17 9 27	10 3 10 4
平均年齢	23	24	
乳量	59	451	
乳質	61	381	

1 乳質管理に ▶ 消費者との対面生産のツールです

1. 牛群検定は、良質生乳生産の確かなツール

- 体細胞数は乳質管理の道しるべです。
- 検定成績には、牛群平均と個体ごとの体細胞数が表示されています。
- いま、乳質改善が最も大きなテーマで、安全・安心を担保する手だてです。バルク乳情報と併せ、有効活用できます。



2 繁殖管理に ▶ 周産期の管理に欠かせないデータを提供します

1. 高泌乳牛で、繁殖が遅延しがちな理由

- ① 栄養の過不足を起こしやすい。
- ② 肝臓などに、負担がかかる機会が大きい。
- ③ ストレスが大きく影響する(高泌乳自体がストレス)。
- ④ ホルモンバランスの崩れによる卵巣機能の低下など。

2. エサ給与の適否が大きな要因

- ① 一般的な事例では、発情が来ない、来ても弱い、止まりが悪い。
- ② 初回発情遅延→分娩前の栄養不足(分娩に向けて痩せてくる)。
- ③ 鈍性発情→分娩後のエネルギー不足が主因(急激な体重減少)。
- ④ 授精回数が多い→エネルギー不足(検定成績表のP%の低下)。

空胎日数から見た収益損失見込額は40頭牛群で年間

216万円!

分娩間隔の遅延(現状:433日)

空胎日数の伸び(現状:160日)

長期不受胎牛の増加
(現状:121日≦空胎牛の56%)

平成16年度の牛群検定成績のまとめ(全国平均から)



繁殖の良否が決め手!
遅延は儲けが少なく、経営を圧迫する

主な損失内容

- 1 産乳量の減少
- 2 分娩牛の減少
- 3 産次数の低下
- 4 過肥牛の増加
- 5 疾病牛の多発

3

健康管理に

▶ 乳成分で健康チェックを!

1. 乳成分は、ルーメンの発酵状態を映し出す鏡です

- 検定成績の乳成分率で、ルーメン内の発酵の良否、エサ給与の適否が分かります。これにより、健康状態や繁殖状況などを把握することができます(トラブルや疾病の回避)。
- 特に泌乳初期牛のF%とP%(SNF%)のバランスに留意!
 F%→肝機能の指標となり、高脂肪は脂肪肝が疑われます。
 P%→エネルギー充足の指標で、卵巣の回復状態を示します。



乳成分バランスが大事!

乳量と乳成分バランス(検定成績表から 具体例)

分娩後日数(産次)対比	乳量 kg	F %	P %	SNF %	成分バランスから見た所見
20日(5産) 前月比	25.6 —	5.8 —	2.7 —	7.9 —	F%突出し他の成分が低い。脂肪肝、ケトーシスの疑い濃厚?
57日(2産) 前月比	40.7 +3.2	3.9 -0.1	3.3 -0.2	8.9 -0.1	乳成分のバランス良し。体調が良く、繁殖の成績も期待出来る!
64日(3産) 前月比	59.3 +3.0	3.5 -0.1	2.6 0.0	7.8 -0.1	高能力牛で、エネルギー不足。消瘦、繁殖等のトラブル懸念?
201日(4産) 累計比	31.5 -0.7	2.7 -0.5	3.3 +0.2	8.8 +0.2	F%が極端に低く、濃厚飼料の多給、反芻不足や食い止まり?
287日(3産) 累計比	16.6 -2.9	5.2 +1.0	4.1 +0.8	9.2 +0.7	乳期後半の濃厚飼料多給。肝臓機能障害、産後の繁殖懸念?



ママ~どうしたの~

2. 移行期の管理が適正なら、立ち上がりが良い

- 肥満は健康の大敵。乾乳期の肥満、分娩前後の喰い止まりを防止するためにBC(ボディコンディション)を整えてから乾乳しましょう。



何か変だよ、君のオッパイ

新鮮・安全・おいしいミルク生産を!

4

牛群改良に

▶ あなたもできる牛群改良

1. 検定農家には「牛群改良情報」が年4回届きます

- 表示される育種価(EBV)を用いて、誰でもどこでも科学的データに基づく交配計画を立てることができます。
- 交配計画 → 赤本(雄側)と牛群改良情報(雌側)の活用

$$[\text{雄の育種価} + \text{雌の育種価}] \div 2 = \text{娘牛に期待される改良量}$$



2. 選抜淘汰の道しるべが得られます

- 牛群内評価(10~1:10に近いほど上位)、パーセント順位(1~99:1に近いほど上位)により雌牛の選択的な利用ができます。
- つまり、後継牛生産用雌牛と交雑種生産向けの選び分けができます。
- 牛群内評価5以上、パーセント順位70%程度までが、後継牛を生産する雌牛の目安です。

■牛群内評価とパーセント順位

牛群内評価	頭数	パーセント順位
10	1	1
9	3	1~2
8	6	4~7
7	7	8~18
6	13	23~34
5	15	42~56
4	4	58~68
3	1	83
2	3	89~93
1	3	96
計	56	

5

経営改善に

▶ 計画を立て易い

1. 実態が分かり、現状分析できて、問題点を洗い出せます

- 分析に利用出来る確実に牛個体毎の具体的なデータが、牛群検定で揃います。

2. 計画を立て、改善点を実践し、成果を確認する

- 経営改善の前提は能力把握。コスト低減の近道は生産性を高めることです。

